

10月1日(火)

喜び叫べ

聖書朗読 詩篇 66:1~7

さあ、神のみわざを見よ。神の人の子らになさることは恐ろしい。詩篇 66:5

およそ3300年前の出エジプトの物語で、神様は人間の歴史に干渉したいと思ひ、それを実践されました。毎週教会に通うあまりにも多くの人々は、このことは昔の話だと思っています。人々にとって、日々の生活は、驚きや不思議が全く足りない、ありきたりなものとなってしまっているからです。それが、私が子ども好きである理由のひとつです。子どもたちは神様の物語にびっくりし、そして驚嘆します。

毎年、教会において、ある兄弟が、子どもたちに聖書の最も偉大な物語のいくつかを教えます。それらの物語のうちの一つが紅海の横断です。彼は私たちの建物の三階のバルコニーから、地上階で『イスラエル人』を追跡するファラオの『兵士たち』に向かってバケツの水を注ぐことで、この場面を再現しました。子どもたちはとても面白がって、笑って、驚嘆しそして喜び叫びました。

私はこの詩篇の言葉を読むとき、私たちが神様の大きいなる業を思い出すときに神の民の喜びを経験するように招かれているのだということを思い起こします——まさにこの子どもたちが喜び叫んだように！

讃美歌 443

祈り 親愛なる主よ、あなたをご自身の被造物のためにした力強い業を思い起こすとき、私たちが喜びで圧倒されますように。あなたの愛と見守りのゆえにこの地球が喜びで満たされますように。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ロドニー・トーマス
テキサス州 ラバック

10月2日(水)

中心に神様を見いだす

聖書朗読 詩篇 103:1~14

わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。
詩篇 103:1~2

私たち全員ではないかもしれませんが、ほとんどの人が、聖書の最初の一節を知っています。「初めに、神が天と地を創造した。」最後の一節を知っている人はもっと少ないでしょう。「主イエスの恵みがすべての者とともにあるように。アーメン。」真ん中の節はどうでしょうか？ 聖書の節は全部で31、102節ありますので、真ん中の節は二つの節で構成されることとなります。そしてそれは上記の、今日の聖書箇所です。わお、聖書の中心です！

フットボールやバスケットボールでは「センター」を務める選手が一人います。野球選手にも、「センター」を守る人がいます。俳優はステージの「センター」に行きます。私はまさに、今日の聖書箇所が人と神様の関性の「センター」に焦点を当てていることに気が付きはじめました。

クリスチャンの人生は、神様をほめたたえること、神様との関係を保ち、それによって導かれる恩恵に感謝するのだと思います。他のすべてのものはそこから自然と湧き出るので。礼拝、伝道、そして神様にある日々の生活やその他のことは、神様が私たちの人生にしてくださったことへの感謝から生まれるものであり、また、それは神様が私たちの人生に働いてくださる結果でもあります。私たちは主を讃美するとき、同じように主を人生の中心とする人たちと集うのです。

神様は私たちが喜ぶ時に喜ばれる。

神様の望みは私たちが何の不安も持たずに
羽ばたき、主への讃美を歌う鳥のように自由であることだ。

A・W・トウザー

讃美歌 II194

祈り おお、主なる神様、私の中心となってください。私の喜び、平安、そして私の日々の歩みの中心となってください。どうか他の人々も同じように自分の中心をあなたに明け渡すように導いてください。

あなたの御子の御名によって祈ります。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネヴァダ州 カーソン・シティ

10月3日(木)

憩いに戻る

聖書朗読 詩篇 116:1~11

主は情け深く、正しい。まことに、私たちの神はあわれみ深い。主はわきまえのない者を守られる。私がおとしめられたとき、私をお救いになった。私のたましいよ。おまえの全きいこいに戻れ。主はおまえに、良くしてくださったからだ。

詩篇 116:5~7

嵐の前に時々、私たちが大切にしている犬がひどく動揺して何度も何度も外へ歩き出て行ってはクンクン鳴くことがあります。案の定、雨と雷が降り始めます。そしてその日遅く、嵐が消えていくのと同様に、犬の落ち着きのなさも消えていきます。

あなたはこれと同じような瞬間(あるいは日、週)を経験したことがあるでしょうか? 人生の嵐は私たちの上に重くのしかかり、迷う私たちの心を怖がらせます。信者として、私たちはかがみこんで私たちの叫びを聞いてくださる神様に呼びかけます。私たちは、主がどんな嵐の中でも私たちを救ってくださる神様であると知っています。

主の憐れみと優しさが私たちに神様の守りの祝福を運んでくださるとき、私たちは詩篇の著者と一緒に言います。「私のたましいよ。おまえの全きいこいに戻れ。主はおまえに、良くしてくださったからだ。」救ってくださる神様を知ることは、憩いに戻る経験をする事です。

讚美歌 520

祈り 親愛なる主なる神様、あなたが私の祈りを聞いてくださるゆえに、私はあなたを愛します。悲しみや不安の時、私はあなたの憐れみを懇願します。あなたの憐れみ深い救いと祝福されて憩いへ戻れることに感謝します。
イエス様の御名により。アーメン。

クライド・H・スリンプ
テキサス州クリバーン

10月4日(金)

筋肉をストレッチする

聖書朗読 箴言 4:7~9

あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい・・・ ヤコブ 1:5

「このことについて、神様の御心が知りたいのです。」それはとても従順で忠実なように聞こえます。それは神様を愛する人々が、神様の望むことに沿って人生を整理したいと思う時に最もよく聞かれる言葉です。時々、彼らは神様の見えざる意志を求めらるうちに麻痺状態に陥っていることがあります。または、彼らは神様に失望したり怒りたくないのに、外へ出て冒険することが億劫になっている時もあります。

聖書の中に、そのような優柔不断は見当たりません。「うまくいかどうか見てみよう。」ペリシテ人のところに忍び寄りていくとき、ヨナタンは道具持ちにそう言いました。また、「私の判断では」(使徒 15:19)エルサレムの会議において異邦人の改宗と教会のことについて議論が交わされた時、ヤコブはこう言いました。パウロとバルナバは、ヨハネ・マルコという若い男のことで意見の相違が起こり、結果として伝道旅行において別々の道を取ることを決めました(使徒 15:37~41)。

どのケースでも、人々は知恵を使っています。知恵とは経験と、認識と、勇気と、良い決断によってのみ発達する霊的な筋肉です。知恵のある人は失敗と、他者からのアドバイスと、神様の視点と、人間性という糸をより合わせて、私たちが知恵と呼ぶ力強いロープを形作ります。人間の筋肉のように、それは使うことでしか鍛えられません。他の誰かがあなたのために運動することによってではありません。知恵とは聖書の中で非常に重要なものとして捉えられています。あなたにとって知恵とはどういうもののでしょうか?

讚美歌 451

祈り 親愛なるお父様、私たちに知恵が増し、信仰者として成熟できるように助けてください。私たちは、霊的な糧として乳を求めた子供っぽいコリント人のようにはなりたくないのです。私たちがこの世界であなたのために生きる時、強く、勇敢で、利口であることができるよう助けてください。
イエス様の御名により祈ります。アーメン。

ブルース・W・ローグ
カリフォルニア州 メルセド

10月5日(土)

人よ、立て

聖書朗読 箴言 29:6~13

知恵のある人が愚か者を訴えて争うと、愚か者は怒り、あざ笑い、休むことがない。血に飢えた者たちは潔白な人を憎み、正直な人のいのちをねらう。愚かな者は怒りをぶちまける。しかし知恵のある者はそれを内におさめる。

箴言 29:9~11

成長するにつれ、ジェラルド・フォードは短気になっていきました。それは結果としてフットボール界から追放されたほどです。彼の母親は息子を落ち着かせる助けとなるために、詩を、特にラドヤード・キップリングの『If』という詩を紹介しました。今日、私たちはフォード大統領のことを信念のある落ち着いたリーダーとして記憶しています。

箴言は私たちを、規則的な生活に到達するように助けてくれます。それは実践的に、愚かさとは知恵との行動を対比しています。自分の戦いを知恵を使って選択し、怒りから離れる機会を探しなさい。これは私たちの衝動をチェックすることを助けてくれるアドバイスです。神様が愛される人格のことをいつも考え、自分たちの対応を変えましょう！

もし、きみが落ち着いて行動できるなら—
たとえまわりの人間がみんなパニックに陥って

きみに非難を浴びせたとしても—

もし、きみの力を信じるものがいなくても

自分だけを信じて進んでいけるのなら—

同時に過信しないで、自分を疑い続けられるなら—

もし、情け容赦のない時間の流れの中で、一分一分を

その六十秒いっぱい全力疾走できるのなら—

それなら、この地球は丸ごときみのものだ。

そして息子よ、そうなったら、きみは一人前の男と言えるのだ。

ラドヤード・キップリング

讃美歌 295

祈り 親愛なるお父様、私たちが少しでもあなたのために勝ち取ることができるよう、すべての人々とまよくやっついていく知恵をお与えください。彼らの要求と必要に対して敏感でいられるよう助けてください。

イエス様の御名により、アーメン。

バリー・ポイナー

ミズーリ州 カークスビル

10月6日(日)

特権への責任

聖書朗読 箴言 31:1~9

彼はしいたげられた人、貧しい人の訴えをさばき、そのとき、彼は幸福だった。それが、わたしを知ることではなかったのか——主の御告げ。——

エレミヤ 22:16

「ゆりかごを揺らす手が世界を制する」と言われます。このことは、自身の言葉が母親に触発されたと言われるレムエル王のケースに表れています。レムエル王の母親が与えた教訓は、多くの母親が息子に与える戒めとは異なった物でした。女性と酒には慎重でありなさい！ 実際のところ、注意はさらに直接的でした。特権に対して慎重でありなさい！

太后は国王の莫大な特権についてよく分かっていたのです。国王はなんでもほしいものをたくさん持つことができます。国王がどのように特権をコントロールするかは、国王が国をどのようにコントロールするかに重要な結果をもたらします。もし、多くの学者が信じるように、レムエル王が実際にはソロモンのことであるなら、彼に忠告している母親は、特権を乱用した国王の結末をよく知っているバテシェバということになります！

私たちは自分たちのことを国王のような特権の持ち主だとは考えないかもしれませんが、しかし私たちのほとんどは世界の多くの人々よりずっと恵まれています。私たちはレムエル王の母親の忠告を賢く受け止め、自分たちが特権や影響力を自己中心的な楽しみによる自分への益ではなく、代わりに「口のきけない人のために・・・口を開き、「悩んでいる人や貧しい者の権利を守」るために使いましょ。

讃美歌 536

祈り お父様、私たちはあなたの恵みと寛大さゆえに、自分たちが味わっている祝福や特権を前にして自分を低くします。私たちのもっているすべての物が他者への奉仕とあなたの栄光のために用いられますように。

イエス様の御名により。アーメン。

デイビッド・ラングフォード

テキサス州 ラバック